

公立大学法人県立広島大学の年度業績評価方法について

- I 前回評価委員会における意見
- II 年度評価の基本的考え方(案)
 - 1 本委員会の基本的評価姿勢
 - 2 年度評価の手順(スケジュール)
- III 評価実施要領の概要(案)

平成19年11月5日

広島県公立大学法人評価委員会事務局

I 前回評価委員会における意見

- 1 突出してユニーク性を出す必要性は低い
- 2 支援的, 育成的なコーチングスタンスに立った評価
- 3 改善に寄与し, スタッフがやる気になる評価
- 4 過度な負担がかからない評価

先行事例の様子を見ながら
慎重に論点整理し手堅くまとめる

Ⅱ 年度評価の基本的考え方(案)

1 本委員会の基本的評価姿勢

(1) 支援的評価の実施(次の改善アクションにつながる評価)

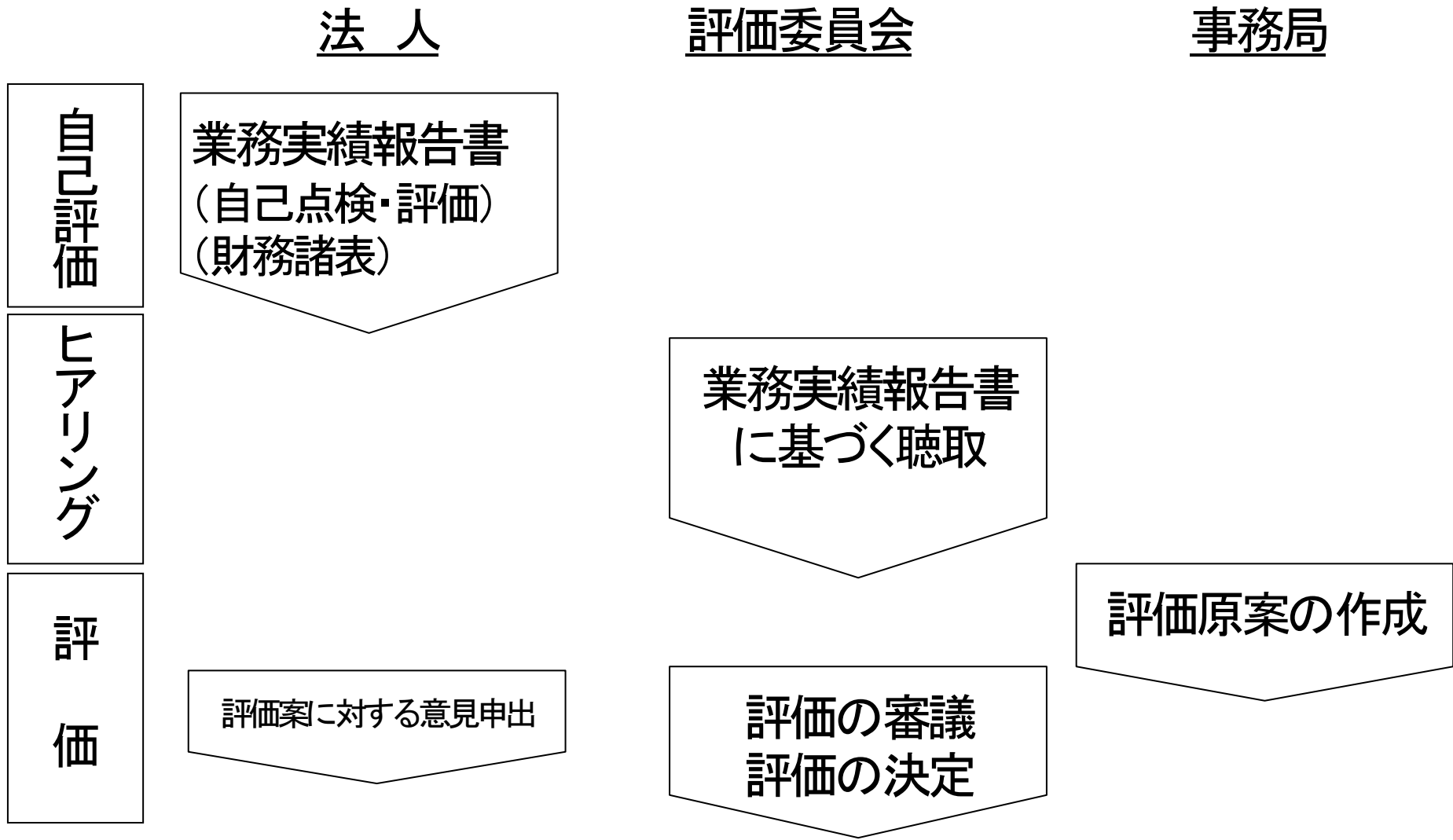
- ・ 計画の実施過程の評価(プロセス評価)
- ・ 年度中途での簡易な状況把握

(例えば, 目標・評価・自己点検説明会への列席・意見交換)

(2) 点検・評価が目的化しないような省労力型の点検・評価の実施

(3) 大学が主体的に設定した優先順位の高い項目を重点的に評価

2 評価の手順(スケジュール)



Ⅲ 評価実施要領の概要(案)※詳細別紙

(1) 評価の基本方針

- ① 中期目標達成に向けた事業の進捗状況を確認する。
- ② 先進的・特徴的な取組や運営の改善を積極的に評価する。
- ③ 再編統合と法人化を契機とする大学改革の取組を支援する。
- ④ 取組状況を県民に分かりやすく示す。

(2) 教育評価

専門的な観点からの評価は行わず、外形的・客観的な進捗状況を確認することにとどめる。

(3) 法人の自己評価の基準

年度計画の項目ごとに4段階で評価

(4) 項目別評価

法人の自己点検の検証を踏まえ、項目ごとに5段階で評価

(5) 全体評価

項目別評価の結果を踏まえ、大項目ごとに5段階で評価し、併せて記述式評価も行う。

(6) 年度中途での進捗状況把握

年度中途に、年度計画の状況の把握のため、簡易な調査を行う。